



問 農業政策課 ☎ 内線1513

県銘柄産地指定に「小菊」と「大根」

8月、JA水郷つくば竜ヶ崎花き園芸部会の「小菊」と大根生産部会の「大根」が、そろって県銘柄産地指定を受けました。ここに至るまでには、生産量が安定していること、市場の評価が高いこと、年間販売額が1億円超であることなど、多くの条件をクリアしなければなりません。

花き園芸部会の「小菊」は、平成22年から継続して指定を受けています。部会長の吉田功さん(桂町)は、8月19日の交付式で「今後も品質向上に向け、部会一丸となつてがんばります」と抱負を語りました。

大根生産部会の「大根」は、今回、悲願の初指定となりました。部会員が強く希望していた洗浄システムの増設も

決まり、今後も耕作面積、出荷量とも増加傾向。初の指定とあつて、今後知事表彰が予定されています。

どちらの部会も、若いメンバーが先輩からの指導を仰げるいい雰囲気。この活気が市全域に広がって、牛久の農業をますます盛り上げてくれることを祈ります。



市内の男女共同参画に取り組む企業を紹介します

ういき ひと・ひと 男・女図鑑

No.11



有限会社シンセイ
新井 宏幸 さん

【企業データ】

有限会社シンセイ(牛久市中央)
従業員数/6人(うち65才以上が4人・女性が2人)
※有限会社シンセイは牛久市男女共同参画ネットワークに新規に入会いただきました。

「いきいき茨城ゆめ国体2019」や「うしく菊まつり」などイベントの会場設営を手がける有限会社シンセイの新井宏幸さんは「シニアやシルバーという言葉は好きではありません。年齢や性別、障害の有無にかかわらず、誰もが働くことができる社会であってほしい」と、定年退職や子育てが一段落して余力のある皆さんが気軽に働ける職場環境を提供しています。

従業員 飯田幹夫さん(65)によれば「平日5日間、午前9時から午後5時まで働くのは体力的にきついけれども、イベントがあるごとにスポット的に働くことができるところが魅力的。趣味のゴルフを楽しみつつ、勤労を通じて社会に役立つことができていると実感しています」とのこと。他のスタッフも働くことを通じて、社会と接点を求めたいという思いで働いています。定年を設けず、仕事が生活の中心でない方でも、働く意欲のある方を積極的に雇用する同社は、「勤労を通じた社会とのつながり」をキーワードに、男女が多様なライフスタイルを可能にする環境の整備を進めています。

「牛久市男女共同参画ネットワーク」会員(団体・事務所)募集中。男女共同参画を一緒に推進しませんか。